

F M の書棚 から



成田一郎氏
大成建設株式会社
FM推進部 FM室長

第8回

最近ではファシリティマネジメント(FM)への関心の高まりから、多くの参考書やマニュアルが簡単に手に入るようになりました。これらの本によって最新の知識を学ぶのは大切ですが、さらに深い理解をするには、ファシリティとマネジメントの両方についてシンプルに解説した資料にあたるのも、いい方法かもしれません。日本で最も早い時期からFMの研究と実践を続けてきた大成建設の成田一郎さんが紹介するのは、米国で話題になったリーダーシップ論と、FMの原典ともい

プロフィール

1948年生まれ。1973年 日本大学理工学部建築学科卒業、大成建設株式会社 技術開発部入社。1989年 日本ファシリティマネジメント協会出向。1997年 FM推進部FM計画室長。FM関連団体の活動として、「JFMA調査研究委員会」委員長(2004～)、「JFMA企画手法研究部会」部会長(1998～2000)、「JFMA品質評価手法研究部会」部会長(2000～2004)、「JFMA更新講習委員会」委員(2003～)、「BELCA事業推進委員会」委員長(2001～2002)、「NOPAファシリティマネジャー資格試験実力養成講座」講師(2003～)、日本建築学会「建築設計ブリーフ特別研究委員会」委員(2000～2003)、「建物のコンパージョンによる都市空間有効活用技術研究会」委員(2001～2003)、「建築計画委員会オープンビルディング小委員会」委員、他。著作物に「ファシリティマネジメントの実際」(丸善、編集)、「総解説 ファシリティマネジメント」(日本経済新聞社、共著)他がある。

「F」と「M」のそれぞれについて わかりやすく解説したベーシックな2冊

FMでは「F」だけでなく「M」も大事だ

ファシリティマネジメント(FM)の勉強を始めた人は、最初は「Facility = 施設、環境」の知識を学ぶのに一生懸命だと思います。しかし、ファシリティマネジャーは、ファシリティづくりに直接関わる社内外のメンバーによるチームを率いるだけでなく、企業のファシリティ戦略を立案・実行するために社内のコンセンサスを得なければなりません。したがって、「Management = 管理、経営」のスキルも身につけることが大切なのです。

この本は、私の会社の管理職研修のテキストとして使う目的で購入しました。ページを開いたところ、まず驚いたのが、目次もなく全容が掴めないこと。しかし、簡潔な言葉で綴られた本文は、通勤途中の短い時間でも読み通せるようになっており、しかも、そのシンプルなリーダーシップ論は非常に説得力のあるものだったのです。

たとえば著者はこう書きます。「リーダーシップとは、あなたが」部下に対して「行なうものではなく、あなたが」部下とともに「行なうものである」。そして、部下の心を動かす力は、決して組織体制や命令系統の工夫によって生み出されるのではなく、リーダーの人間的魅力に尽きるという指摘を、物語仕立てですぐにわかりやすく解説しているのです。

FM先進国のアメリカでは、FMの本質を「ボイラーマンからマネジャーへ」と説明します。施設に関して知っているのはあたりまえで、そのうえにマネジャーとしての能力がなければFMはできません。ただ、マネジメントのノウハウはマニュアルだけでは得られない。それだけに、このような本を読み、自分自身を磨いていくことも必要だと思えます。



『その「リーダーシップ」が組織を壊す』
ケン・ブランチャード、マーク・マッチニック / 著
松本剛史 / 訳
扶桑社

1,100円(税込)
2004年3月発行
ISBNコード:4-594-04551-0

【内容】
『1分間マネジャー』の著者が贈る新世紀のリーダーシップ論、登場! これさえ飲めば、抜群のリーダーシップが発揮される そんな夢の新薬が開発された。しかし、この薬に反対を唱える人物がいた。いったい、真のリーダーシップとはなにか? 物語をとおして、リーダーと組織のありかたを深く徹首に満ちた1冊。マネジメント論の世界的権威による究極のリーダー論。(発行元のサイトより)

日本における「FMの原典」と呼べる1冊

一方、FMの「F」については多くの資料を読んで知識を深めていくしかありません。現在、最も代表的な教科書となっているのが『総解説 ファシリティマネジメント』(FM推進連絡協議会 / 編集、日本経済新聞社 / 発行)ですが、その原典にあたるのが、私も編纂チームに加わったこの本です。

1980年代後半、日本でもFMを導入する必要性が高まり、当時の建設省主催でファシリティマネジメント研究委員会が発足しました。私はその第一期メンバーとしてJFMAに出向し、さまざまな活動に参加させて頂きました。まだ参考にできる資料もなかった時代、それぞれ手探りで日本に合ったFMの方法論を確立していかなければなりません。そのような状況の中で、大学の先生や多くの専門家の協力を得て初めて1冊の本にまとめることができました。

その後、本書は『ファシリティマネジメントQ&A』『ファシリティマネジメント・ガイドブック(第一版と第二版)』と改訂され、今の『総解説～』につながっていくのですが、併読書としての価値は、まだまだ失っていないように感じます。特にFMの基礎知識を学びたい方にとっては、この本のようなシンプルな内容のほうがわかりやすいのではないのでしょうか。最先端のオフィス事情について学ぶのは当然ですが、その一方で、「なぜFMが必要なのか?」といった原則を知るには、多くのファシリティマネジャーを育ててきた本書に目を通す意味は充分にある、と私は思っています。



1998年3月発行
日刊工業新聞社

2003年1月発行
日本経済新聞社

『ファシリティマネジメントの実際 施設を活かす総合戦略』
建設省住宅局建築指導課 / 監修
日本ファシリティマネジメント協会 / 編集
丸善

3,990円(税込)
1991年2月発行
ISBNコード:4-621-03549-5

【内容】
ファシリティマネジメントは人々が生き生きと効率的に活動できるよう建物・設備・備品等の施設を経済性・デザインの面から総合的にマネジメントすることである。本書はその基礎から実務面への応用までをまとめたガイドブック。(発行元のサイトより)

「FMの書棚から」バックナンバーのお知らせ

- 04年 7月号 日本人には日本人に合った椅子がある。ファシリティマネジャーの視野を広げさせてくれる新文化論 石井龍彦氏
- 04年 4月号 FMの発祥地である米国の解説書に学ぶ施設の運営管理に必要な「手法」と「知識」 加藤達夫氏
- 03年 7月号 歴史からPMや管理会計の教科書まで多様な本がFMの知識を深くしてくれる 小林茂良氏
- 03年 5月号 ワークプレース戦略の重要性を経営者にアピールする「虎の巻」 小田毘古氏
- 03年 11月号 グローバルな競争力が発揮できない企業は昔の日本軍と同じ「敗因」を抱えている 中津元次氏
- 03年 3月号 IBMの情報化戦略は知識社会の到来を予測していた 松成和夫氏
- 03年 9月号 まずオフィスコストを正確に把握すること初心得でもFMが理解できる貴重な解説書 山下晶章氏